



6月定例会

ようこそ「くつろぎカフェ」へ
関連記事は2ページに

▶ 村民インタビュー「いちごの広場」のみなさん

▶ 村の一般会計 6,634万円増額 住民1人当たり7,000円分の商品券を

▶ (株)ひえづ村づくり公社ってなに？

議会ひえづが
ご覧になれます



みんなで 働く喜びを!

今回のインタビューは多機能型障がい福祉サービス事業所の「いちごの広場」の皆さんにお話をうかがいました。

いちごの広場のこれまでは

河原さん いちごの広場は、平成13

年に日吉津村社会福祉協議会の一室を借りて活動を開始しました。平成24年「地域活動支援センターいちごの広場」として新たにスタート、平成27年に「く



かわはら みちひろ
河原 道弘さん
(理事長)



今日も一日がんばりました



▲合いことばは、「やればできる」



すずき ひろみ
鈴木 宏美さん
(支援員)

いちごの広場に來られた きっかけは

つるぎカフェ「いちご」の営業を開始、令和5年に「ねぎハウス」をリニューアルオープンし、現在に至っています。毎日平均20人の利用があります。

鈴木さん いちごの広場に來て1年になります。それまでは営業をしたり、

農業もしました。ねぎ作りもしていました。障がい者の方と一緒に仕事をする機会があり、障がい者の方の魅力にひかれ、この人たちの役に立ちたいと、福祉の世界に足を踏み入れました。

日吉津で、働いてどうですか

山田さん 利用者さんの飾らないところが魅力です。

いちごの広場のねぎ作りで、皆さんが自主的に動かれる秘訣は作業工程の分かりやすさだと思います。

日吉津の方は、歩いていると、声をかけてくださいます。地域から見守られているという感じがします。

例えば、ヴィンステひえづはいいなと思います。子どもたちが勉強する場は、他にはないし、みんなで見守っている感じで、うらやましいです。



やまだ まきこ
山田 麻樹子さん
(支援員)

村民 インタビュー

やればできる!

宮川さん 昨年から村内の自宅から歩いて通所していますが、田んぼや畑



みやがわ 宮川 みゆきさん
(利用者)

カフェで働いてどうですか

河原さん 「人前でも発表がうまくできるようになった」「ねぎの作業が上手になった」など、成長を間近に感じることがこの職場の一番の魅力です。成人式という人生の節目に立ち合えた時「あゝッ、良かった」と思います。

いちごの広場に長く関わってきて嬉しかったことは



河原さん これまで試行錯誤をしながら前向きに、あれこれ考えてきました。土を育てる、草取りをする、ハウスの中で苗を育てる。その人の得意なことがドンドン増えていくのがうれしかったです。今までできなかったことが、支援を工夫したりすることででき

いちごの広場のこれから

水津さん 通所3年目くらいです。色んな事業所に行ってたけど、接客をやってみようと思って、やらせてもらっています。顔なじみのお客さんとは仲良くさせていただいています。



すいづ 水津 保さん
(利用者)

がいっぱいいい所です。仕事は喫茶とネギを箱に入れることです。楽しいです。喫茶で気をつけていることは清けつにすることです。月曜日はドリンク100円なので、ぜひ来てください。

一日の作業を終え、満足感にあふれたみなさんの笑顔が印象的でした。ありがとうございました。



▲「ねぎハウス」の作業風景

るようになり、自主性にもつながっています。作業も意欲的になり、早くなつて、他の農家さんの分まで取れるようになりました。ねぎの畑をもうちょっと増やせるかなと考えているところです。

6,634万円を増額

7,000円分の商品券発行

基本計画 後期5年間 も承認

6月
定例会

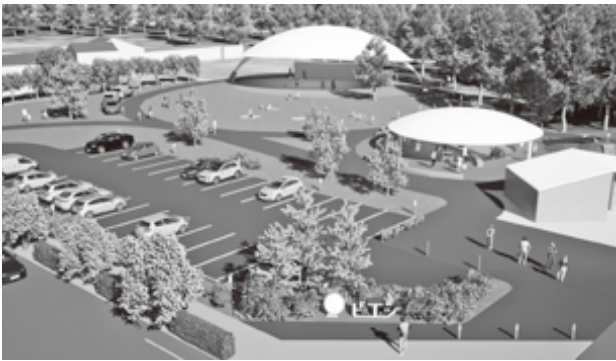
議案第25号

一般会計補正予算(第1回)

主な事業(支出)

●地方魅力発信事業 230万円

村内外への魅力発信のため、利便性の高いホームページへリニューアルする。職員が情報発信を効果的に行えるよう仕様を整える。



▲海浜運動公園2期工事の完成イメージ

令和8年第2回定例会を、6月9日から19日まで開催しました。
議案は、令和8年度補正予算1件、人事案件(同意・諮問)12件、条例の設置・一部改正3件、その他議案4件、専決処分2件、陳情1件などを審議し、全23件を可決・同意・承認しました。

●地方創生マネジメント事業 400万円

県内で活躍するインフルエンサーやメディアに委託して情報発信したり、昨年ブランド化した「夏香鮎」のつまみ取りイベントや、日吉津の魅力を題材に絵画コンクールを開催して、ひえづのファンづくりに取り組む。

●ひえづ元気回復商品券事業

2618万円

物価高騰対策として、村在住者一人当たり7千円分の商品券を発行(9月中下旬に配布予定)。

●地方創生2・0新たな産業づくり

4200万円

イチジク等、加温栽培の試験ハウス2棟を村直営で整備。新規特産品開発に向けてスタートアップを支援する。

村の施設としてどのような管理運営を行うのか。明らかにしてから着手を。

管理運営については、今後十分に検討しながら、年内の建設を予定したい。

その他の議案

議案第22号

みんなで創るひえづ未来会議条例

総合計画審議会と地方創生推進会議を一体化し、名称を改める。

議案第23号

村特別職で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

ひえづ未来会議委員の報酬決定。

議案第24号

村廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

し尿の汲み取り手数料18円あたり261円を、277円に引き上げ。

議案第26号

鳥取県行政不服審査会共同設置規約の変更に関する協議

箕蚊屋中学校組合の解散に伴い、規約から削除するための変更。



住民1人当たり

第7次村総合計画の

議案第27号

予防接種健康被害調査委員会にかかる事務委託規約を定める協議

鳥取市・米子市以外の17市町村が、県の委員会へ事務委託するための協議。

議案第28号

第7次村総合計画後期計画を定める

村総合計画（10年間）の令和8年から5年間の後期計画を定めるもの。

総合計画に障がい者や高齢者への支援がどう位置付けられているか。

高齢者への記述は多くないが福祉、健康、生涯学習などにおいて、世代を限らず進めることとした。

審議会からの数々の指摘事項について、反映されたか。

計画書の文言を修正したり、今後の検討事項として適宜反映している。

「下水道料金の適正化」と書かれているが、具体的にはどうするのか。

20年以上据え置き、減免もしてきた。今後は「料金の見直し」、また「料金体系の見直し」を行う。

主な施策も記載されていないので、村民には、村の方向性が分からない。

不十分な点は、個別計画やその検討のなかで丁寧に説明していきたい。

開会日に議決された案件

〔人事案件〕（敬称略）

●農業委員

斎下博三、山西昇、

川口剛敏、生村好実、

石原恵一、福本康徳、

尾村真澄、田中泰栄

（任期）令和11年7月19日まで

●固定資産評価審査委員

稲田真人、長谷岡淳一、

松本二三子

（任期）令和11年6月23日まで

●人権擁護委員

西珠生

（任期）令和11年12月31日まで

議案第21号

第2期海浜運動公園再整備事業設計施工一括請負契約

5億8740万円

専決処分の承認（2件）

●村税条例の一部改正

令和7年度村一般会計補正

予算（第11回）

討論 議案第22号 みんなで創るひえづ未来会議条例

反対討論（前田議員）

総合計画を決定する審議会に、地方創生推進会議を合体させて、曖昧な名称に変えるのは、今後の村づくりにとってマイナスだ。

賛成討論（松田議員）

第7次総合計画及び第3次地方創生総合戦略の委員会を一括管理することは、総合的・効率的・効果的で賛成だ。

賛成多数で可決

討論 議案第28号 第7次村総合計画後期計画について

反対討論（前田議員）

今回の基本計画に主な施策についての記載はなく内容が不十分、審議会も1回だけの開催でプロセスにも問題あり、今一度検討を重ねるべきだ。

賛成討論（松田議員）

計画の策定においては、パブリックコメントや「ふらっとde委員会」での意見を反映し、審議会で決定したもので、賛成だ。

賛成多数で可決

議案の審議結果

賛否の分かれた議案

議案番号	件 名	斉田	加藤	江田	長谷川	前田	石原	河中	橋井	松田	山路
第21号	第2期日吉津村海浜運動公園再整備事業設計施工一括請負契約について	○	○	×	○	○	○	○	×	○	—
第22号	みんなで創るひえづ未来会議条例	○	○	○	○	×	×	○	○	○	—
第25号	令和8年度日吉津村一般会計補正予算について	○	○	○	○	×	×	○	×	○	—
第28号	第7次日吉津村総合計画を定めることについて	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—

(議長は採決に参加しません)

陳情2件を審査しました



6月定例会では、3件の陳情が提出され、このうち2件が「総務経済常任委員会」に審査を付託されました。1件は議員への供覧のみとなりました。2件について、委員会の結果報告を受けて、本会議にて採決を行いました。

陳情第11号「米子境港間の高規格道路ルート帯案1（国道431号の道路空間を活用する案）における日吉津村への影響の懸念を国土交通省等へ伝えることを求める陳情」については、継続審査となりました。

【総務経済常任委員会付託案件】

陳 情 「非核3原則の堅持を求める意見書を貴議会から提出するよう求める陳情」 第 3 号

【陳情者】原水爆禁止鳥取県協議会 理事長 山上 英明

委員長報告

討論なし

本会議結果

採 択

(全会一致)

採 択

(全会一致)

※陳情（ちんじょう）とは、国や地方公共団体などの公的機関に対し、地域の課題や実情を訴えて特定の措置を講じるよう（または講じないよう）要望する行為です。



社会福祉センター 旧うなばら荘の現地調査



議会閉会中に、各委員会で村の重要課題について調査を行いました。

教育民生常任委員会

- 期 日 令和8年4月13日
- 調査項目 社会福祉センター等の運営と地域福祉について

【主な調査内容と考察】

デイサービスセンターは、風呂場等施設内をリニューアルした。利用者が快適に過ごせるように、動線も工夫されていた。昨年10月のスタート時より、利用者も増えて、順調に経過しているようである。

筋力トレーニングルームは最新の器具が取り入れられ、全年齢型フィットネスジムに形態が変わった。しかし高齢者が体力的にどこまで利用できるか、少し不安が残る。

社会福祉協議会には、ニーズに沿った福祉活動をすることが求められている。

行政としては、その効果や意義をPRし、村民誰ものよりどころになるよう手厚い支援が求められる。



▲社会福祉センター

総務経済常任委員会

- 期 日 令和8年5月19日
- 調査項目 ひえづ村づくり公社の事業と海浜エリアの状況について

【主な調査内容と考察】

旧うなばら荘の室内は思っていた以上にきれいだった。食物残渣を燃料にしたバイオマス発電を検討していると説明されたが、不明確なことが多い。レストランは7月に先行オープンすると説明を受けた。



▲旧うなばら荘の駐車場

海浜運動公園のキャンプ場はリニューアルオープンしてから多くのお客さんが訪れ、好調のようだが、今後も利用者が減少しないよう努力していただきたい。

ひえづマルシェではソフトクリームの売り上げが好調である。天井から垂れ下がっている大きなソフトクリームのオブジェがSNS映えている。今後も新鮮市場の他店舗との相乗効果を期待したい。

づくり公社 ってなに？



(株)ひえづ村づくり公社の事業に注目

公社の概要

【役員】・代表取締役 三嶋 真樹

・取締役 中田 達彦（村長）

・監査役 小原 義人（副村長）

【資本金】・日吉津村 50万円

・（株）伯耆のきのこ 40万円

・ひえづ物産 10万円

【設立】 令和7年5月

海浜運動公園の指定管理

海浜運動公園がリニューアルされ、グランピング施設やオートキャンプ場が新設された。今までのバンガローやキャンプサイトを含めた管理運営に、年200万円を3年間補助し、委託する。

ひえづマルシェの運営

新鮮市場内に、村費を約4500万円投下しオープン。メインはソフトクリームで、地元の物品販売や、賃借料をひえづ物産に支払っていく。



▲多くの方の利用を待っています

海浜運動公園

管理人 柴田祐樹さん・裕美さん

祐樹さん

大阪出身ですが、西部

消防に13年間勤務しました。その間に結婚し、将来は宿泊業をしてみたいと思います、今はここで勉強させてもらっています。



▲管理人の柴田さん夫婦

裕美さん

私は岡山県北の出身ですが、日南病院に勤務する看護師でした。地域の活性化に関わりたくて夫と共にここで働いています。

祐樹さん

全く経験なく不安が大きかったのですが、リピーターさんは、ここへの愛着が強いです。管理面では何より広い施設の清掃や植栽などが大変です。

裕美さん

今後は、いろいろな人と仲良くなって、その皆さんの協力もいただきながら、楽しいイベントに取り組みたいと思っています。



(株)ひえづ村

ひえづマルシェ

店長 大山亜佐子さん
おやま あさこ

石川県出身で能登の復興支援のイベントを、鳥取県内でやった時の出会いから、今ここにいます。

現在フルタイムのスタッフ2人とパート3人で運営しています。水・木曜日はお休み、土日は4人体制で対応しています。

ソフトクリームの品質を維持することは大変です。ここに入れた機器は、イタリア製で、その都度複雑な調整が求められます。温度や空気の含有率、いちごやブルーベリーなど



▲マルシェのユニークなオブジェ



▲すてきなユニフォームですね(左から2人目が大山店長)



素材との微調整などが必要で緊張します。

現在、お菓子などを村内の10カ所のお店から仕入れています。どなたも、製品への想いが深いと感じています。ここが子どもからお年寄りまでつながっていける場になればと思っています。

三鴨社長インタビュー

村づくり公社立ち上げは、「日吉津を盛り上げるために、一緒にやってもえませんか」と声をかけられたことがきっかけです。ふるさと納税額が減ってきていた頃で、返礼品開発をやることで、日吉津村全体の売り上げが伸びたらいいなと思いました。

海浜運動公園キャンプ場も、ひえづマルシェも、今のところ順調で喜んでいます。

これからに向けて、キャンプ場ではレンタル品や食材も注文できるようにしていますので、気軽に来てもらいたいです。

マルシェの方では、季節のソフトクリーム開発のため、日吉津の農家さんと「こういうものがあるよ」という良い関係をつくっていききたいです。



▲意欲を語る三鴨社長

一般
質問

日曜議会 村政を問う

9名の議員が



▲住みよい村づくりに取り組む（村長）



加藤 修 議員

中田丸の村づくりは
村長 3期目に出馬し
住みよい村を作ります

Q 中田村長が目指す村づくりとは。

A 村長
海浜運動公園のキャンプ場が完成し、2期工事の予算も議決され、工事也开始まる。来年には供用開始される。本年度で予定されているハード事業が終わる。

来年4月の村長選に出馬したいと思う。

Q 柱となる事業のスローガンは。

A 村長
スローガンは「100年先も住みよい日吉津村づくり」である。「住みよい」ということを考えて、第7次日吉津村総合計画を策定したみんなで創る村、元気な村、住み続けた村を柱にしている。
みんなで創る。参画と協働といったところを大事に取り組んでいきたい。



松田悦郎 議員

社会福祉センター整備の 反応は

村長 戸惑いの声も伺っている



▲改修された福祉センターとフィットネスジム

Q 社会福祉センターとデイサービスセンターを修繕・改修された。

その後、村民の反応について伺う。

村長

A 社会福祉センターは介護予防ささえあいサポート拠点として整備し、地域づくりの推進と住民交流の場づくりを進めている。

反応は

国のモデル事業として、社会福祉センターとデイサービスセンターを併せて約1億円の工事である。

フィットネスジムでは、若い世代からシニア世代までを対象として整備している。若年期からの健康づくりを行い、高齢期のフレイル予防をねらいとしている。

一方で、「高齢者が行く場所でなくなった」「フィットネスジムは高齢者には使いにくい」など、戸惑いの声もあった。

今後は、寄せられたご意見を参考にしながら、必要な説明を行い、使いやすい場所となるよう努めていきたい。

利用料金を安くされたい。

Q

福祉保健課長

A 今後、皆さんのご意見を聞きながら検討したい。



斉田光門 議員

副村長就任後の行政体制は

村長 適切な役割分担で
安定した村運営

Q

①副村長の選任理由と役割は。

②就任後、行政体制はどう変化したか。

村長

A ①昨年4月、地方創生など新たな取り組みを推進するため、小原副村長を選任した。

役割は村長の補佐、その命を受けて政策や企画立案を行うことや、職員の仕事の監督をすること。

②事務の決済権限の見直しを行い、副村長の権限でできるものを増やした。

対外的にも内部的にも村長の代理としての役割を担っている。外郭団体では様々な物産の取締役などを務めている。

旧うなばら荘開業に向けた業者との交渉協議を行う。各課業務の相談指導や人事管理など幅広く行っている。村長不在時、課長や職員の身近な相談相手として指導的役割を果たしている。

今後の取り組みは、海浜運動公園のリニューアルなどの進捗管理や関係者との調整において、副村長の役割は大きいと認識する。村民との対話や、村として総合的な成果につながるよう取り組む。



▲重要プロジェクトの打ち合わせ



石原浩明 議員

空調作業服購入費の補助を

村長 財源等も含めて
研究してみたい

Q

猛暑の中、屋外で作業される農業者のために、冷却機能付き作業服の購入費を補助してはどうか。

A

村長

県内の自治体において、一定規模以上の販売農家を対象とした補助制度を設けていることを聞いている。熱中症対策として有効だと考える。他の自治体の事例や財源等も含めて研究してみたい。

Q

農機具修理などへの補助の検討はどうか。

A

村長

他県においては、一定規模以上の農地耕作者に補助制度を設けているところがある。規模拡大が図られるとか、効率化が図られるなど、補助制度の導入により、生産性が向上するものや、スタートアップを支援する観点で行っている。

県内のほとんどの自治体では取り組んでいないのが現状。

制度の導入に当たっては、対象者をどの範囲にしていくなか、どのような機械のどの程度の修理を対象とするかなど慎重に検討すべき事項が多く、決定には至っていない。



▲熱中症対策に冷却機能付き作業服を



前田 昇 議員

総合計画の見直しと村民参画

村長 実施計画の作成をすすめる



▲ふらっとde委員会の模様

Q

また、各種施策の個別計画もあるので、それらをご覧いただきたい。計画の内容にも、数々の疑問点がある。各項目に、KPI（成果目標指標）が示されているが、果たして村民の立場から期待する指標になっているか。例えば、観光客を大幅に増やすとしている。経済効果を期待するという意図がもしないが、そういった説明もされていない。村民から見れば、日常生活の面で不安を感じるのではないかな。善後策として、総合計画の冊子作成の際、重要施策については追記するなど工夫されたい。

A

村長

村民アンケート、ふらっとde委員会、総合計画審議会などいろいろな意見をいただいた。施策の状況は毎年変化するので、実施計画のなかで、具体的な施策を示していきたい。



長谷川康弘 議員

ひえづ村づくり公社の状況は

村長 マルシェは売り上げ好調

Q ひえづ村づくり公社は、海浜運動公園の指定管理、日吉津マルシェ開店など村の知名度を高めるため貢献されているが、現状はどうか。マルシェの売り上げは順調かどうか。

A ひえづ村づくり公社は村の特産品の開発・販売もしており、昨年は「夏香鮎」を開発しているが、その後新しい商品はできているか。また、これらはふるさと納税の返礼品にもなると思うが、今年度のふるさと納税の寄附額をどう予測するか。

村長

3月にひえづマルシェをオープンし、今年度からは海浜運動公園の指定管理も行っている。いずれも短期間ではあるが順調なスタートを切っている。特にマルシェについては、オープン直後から売り上げが好調であり、洋菓子の販売においても堅調に推移し、事業者から生産



▲期待される「ひえづマルシェ」

が間に合わないという声もあがっている。

特産品の開発については昨年度「夏香鮎」

を販売した。また、イチジクの先進地視察も行った。今後村の支援を継続し、イチジクの特産品化を進めるなど、村と公社が連携し村内の農林水産物、観光資源、加工技術などを活用した商品開発を引き続き行い、ふるさと納税の返礼品を増やしていきたいと考えている。

ふるさと納税の寄附額は、令和7年度は前年度比15・4%増の4千600万円。今年の5月末では前年度比27・8%の増額となっている。本年度も昨年度以上の伸び率を目指していく。



河中博子 議員

福祉の村ひえづで

笑顔づくりを

村長 地域福祉の推進を重視

Q 子育て支援の施策はあるが、高齢者支援については、施政方針や村づくりの指針である総合計画にも述べられていない。なぜか。

村長

高齢者の方への支援も継続して行っているが、あえてそこで高齢者という区分をするのではなく、すべての方が健康で暮らしやすい村づくりを進めるといった言い方にした。

Q 住民の3・5人に1人は高齢者である。高齢者支援として施策を立てるべきではないか。

村長

高齢者の方に福祉の充実をという表現はしていないが、子育て支援だけでなく、高齢者や障がい者など地域福祉の充実に取り組んでおり、住民同士の支えあいと、行政・関係機関と連携しながら、福祉の推進を重視している。



▲まくれんカラダ体操
～社協にて～



▲ホームヘルプサービスの復活を



江田加代 議員

介護職の人手不足の打開策は

村長 全国町村会を通じて
国に要望している

Q

介護保険の基本報酬の引き下げ以降、特に在宅介護の要である訪問介護事業者が経営難に陥り、倒産や廃業が広がっている。

現在、国では介護保険制度の見直しが進められているが、ホームヘルプ事業の減収分を支援金として給付

する自治体もある。広域連合副連合長として介護事業所への支援の考えはないのか。

また、国に介護報酬の引き下げをしないよう提言することを求める。

A

村長

介護保険は全国共通の制度であり、介護サービス事業所の経営状況、介護人材の確保、利用者負担など、国が総合的に勘案し定めている。国への提言については全国町村会を通じて「介護現場の実状を把握した上でサービス提供体制の維持が図られるよう、検討を行っていただくように」要望している。

介護事業所支援については、この場で副連合長としての答弁は控える。



橋井満義 議員

旧うなばら荘の再開はいつか

村長 レストラン営業は7月に

Q

村民の方から、いつオープンするのか、大丈夫か、不安の声をいただく。次の点について回答を求める。

①4月19日開催の事業者による説明会の目的と主旨は何だったのか。

②具体的な事業再開はいつか。

③温泉をバイオマス発電により加温する説明だった。生ゴミを利用した設備事業を補助金を得て行う主旨であったが、村はどう理解しているか。

④生ゴミを利用したバイオマス発電施設はどこに建てるのか、また臭気対策はどうなのか。

⑤この事業の再開は度々延長された。信頼関係に疑念が残る。当該事業者（Rコーポレーション）の信用調査の実状はどうしているか。

A

村長

①Rコーポレーションの会社概要や、今後の方針についての説明会だった。進展があれば説明があ



▲旧うなばら荘の館内調査

ると考えている。

②レストラン営業を7月に開始すると聞いている。

③事業者が実施主体であり、国から交付を受けるもので、村としても協力したい。

④旧うなばら荘東側奥の村有地で計画されている。

⑤信用性についての問題は無いと考えている。

日曜議会開催

令和8年6月14日(日)

日吉津村議会では村民の皆様には議会活動に関心を持っていただけるように、3回目の日曜議会を開催しました。傍聴者18名にアンケート調査を依頼し、11名の方に回答いただきました。

アンケート結果報告

問 議員の質問や村長等の答弁などについて

(議員の質問について)

- 答弁が質問の意図とずれている。村民を代表して、何とかしたいという熱意が感じられない。
- 村民の声を集めた資料を準備、専門的な部分から質問してほしい。30分を余らすなら議員数を減らしても良い。

(村長の答弁について)

- 特に旧うなばら荘に関し村の責任者ではなく、業者任せ。
- 答弁「○○と聞いている」まるで第三者。住民として不安であり、現実があまりにも見えていない。

問 この度の日曜議会の開催について

大変良かった	5	● 平日はスケジュールがある。
まあまあ良かった	3	● ひえづチャンネルで時々議会を見ますが、一度リアルで見ることができ興味がわきました。 ● イメージがわかりやすい。
あまり良くなかった	1	● 村民視点になっていない質問があった。
その他	2	● 住みやすい小さな村の村民としてこれからもよろしくお願いします。 ● 落胆でしかない。

問 今後の議会運営やお気づきの点について

- 議員紹介は不要。
- 9時からスタートなのに9時4分だった。
- 最初から自席での質問、答弁でよいのでは。
- 質問が時間が余ってずれる場合、対応策が必要。
- 定例会として開催するのであれば、質問時間を増やす必要がある。
- 質問事項も昨年と同一内容で、議員のやる気があるのか。
- 日曜日にこだわることなく、夜でも良いのではないか。
- 予算をスイスイ無駄に通してはいけない。議員は関所番人になってほしい。



- 日吉津村議会では、議会傍聴をしていただきやすいよう、6月定例会の一般質問を日曜日に開催しています。通常は議員1人あたり80分(以内)の持ち時間のところ、30分に短縮して行っています。ただし、傍聴をいただいた方からは、ご不満の点を指摘いただいています。難しい点もありますが、今後も検討し、村民の皆様から信頼をいただけるよう努めてまいります。引き続きのご理解をお願い申し上げます。

議会のうごき

全国町村議会 議長・副議長研修会

とき 5月26日(火)
ところ 東京国際フォーラム

講義①地方創生の先行き

講師 (一財) 地域活性化セン
ター理事長

林崎 理氏

講義②人口減少社会における外

国人材の確保・育成の実践

講師 東海大学教養学部人間環

境学科教授

万城目正雄氏

講義③男女共同参画で地域を元

気に

講師 京都女子大学学長

武安 栄子氏

講義④女性模擬議会の取り組み

登壇者 宮城県蔵王町女性議会

議員3名

ほか



鳥取県町村議会広報 研修会

とき 7月6日(月)
ところ 三朝町 溪泉閣

○演題

「読まれる議会広報紙になるた
めの広報クリニック」

▽講師 (一社) 日本経営協会

中本 正樹氏

昨年の指摘内容が改善された
か、目を引く表紙デザイン、読
みやすい紙面レイアウトや住民
の関心が高い特集記事について
学びました。
読んでみたいと感じる議会だ
よりを目指します。



▲日吉津村議会報についてもアド
バイスをいただきました。

【表紙】おいしい飲み物をどうぞ



おかだちあき 岡田千晶さん、
わたなべかん な 渡部完菜さん

ヴィレステひえづ内にある「く
つろぎカフェいちご」は、多くの
村民の皆さんに親しまれています。
名前の通り、みんなにくつろい
でもらえることを心がけておられ
るそうです。



次回の定例会は
9月です

「議会ひえづ」について
ご意見・ご感想を
お聞かせください！

議会事務局
TEL 27-5957

編集後記

議員になり早いもので
3年がすぎました。来年
4月には村長、議員のダ
ブル選があります。

前回の選挙はどちらも
無投票でしたが、日吉津
村の村づくりを進めるた
め、活発な選挙を期待し
ます。

議会だよりが村づくり
への積極的な参画につい
て考えていただくきつ
かけとなれば幸いです。

— 斉田 記 —

5月号8ページの写真
のコメントを「市立箕
蚊屋中学校の閉校式」
としていましたが、正
しくは「開校式」でした。
お詫びして訂正します。

【議会広報広聴常任委員会】
石原 浩明・斉田 光門
橋井 満義・江田 加代
前田 昇

